

事業名	花の応援団						
ジャンル	家庭教育	・	青少年教育	・	成人教育	・	団体育成
日程	令和4年4月～令和5年3月	講師	-	参加費	無料		
対象者	園芸ボランティア	参加者数 (延べ)	60人(令和4年12月現在)	募集方法	公民館だより		
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> 園芸活動を通して仲間づくりをし、生きがいのある生活を楽しむことを目的とする。 会員の園芸への知識の向上を図る。 						
内容	<ul style="list-style-type: none"> 年間12回の活動を計画している。 根郷公民館駐車場側花壇の手入れ、花の植え付け、チューリップの球根掘り、裏庭も含めた除草作業等を行う。 						
工夫	<ul style="list-style-type: none"> 会員が意欲を持って活動ができるよう、団体の主体性を尊重しながら支援を行った。 活動内容を市民に周知することで、学習意欲の向上を図った。 						
成果	<ul style="list-style-type: none"> 20年以上にわたり、花壇の植栽や整備、草刈りなどの活動を続けてきたことで、公民館利用者の学習環境の向上に大きな役割を果たしてきた。 平成30年度の佐倉市教育功労者表彰式では、市の教育、学術または文化の振興などに顕著な功績のあったとして表彰された。 						
課題	<ul style="list-style-type: none"> 会員の減少と高齢化が問題である。15名前後で活動していた時期もあったが、近年会員は減少傾向にある。ちなみに令和4年度は10名となっている。 終了した花の苗の配布に替わる対応の改善が必要。 						

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	<ul style="list-style-type: none"> 公民館が行う必要があるか。 市民や利用者のニーズに合っているか。 目的や役割が薄れていないか。 事業の休止・廃止した場合の影響は大きいかな。
優先性	A	<ul style="list-style-type: none"> 事業の優先度は高いか。
公平性	A	<ul style="list-style-type: none"> 対象者に情報は流れているか。 受益者負担はあるか(実費・教材費)
有効性	B	<ul style="list-style-type: none"> 期待通りの成果が得られているか。 さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。 市民の満足度は高いか。
効率性	B	<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性はどうか。 事業運営に学習者が参画しているか。 他事業との統合は考えられるか。
総合評価	A	<p>A：適切で成果が得られている。 B：課題あり、成果はある程度ある。</p> <p>C：課題あり、成果があまりない。 D：成果が得られていない。</p>
特記	<p>会員の減少と高齢化の問題に対しては、宣伝活動の強化や講座の開設などで、新規会員を増やしていきたい。また、終了した花の苗の配布に替わる対応としては、会員と相談しながら、代替案を行っていきたい。</p>	

《凡例》 良い ← A B C D → 良くない	《判定例》 <table border="0"> <tr> <td>A } A</td> <td>A } A</td> <td>A } A</td> <td>A } A</td> <td>A } A</td> </tr> <tr> <td>A } A</td> <td>B } A</td> <td>B } B</td> <td>A } A</td> <td>A } B</td> </tr> <tr> <td>A } A</td> <td>A } A</td> <td>B } B</td> <td>A } A</td> <td>B } B</td> </tr> </table>	A } A	A } A	A } A	A } A	A } A	A } A	B } A	B } B	A } A	A } B	A } A	A } A	B } B	A } A	B } B
A } A	A } A	A } A	A } A	A } A												
A } A	B } A	B } B	A } A	A } B												
A } A	A } A	B } B	A } A	B } B												

次年度展望	①	①：事業拡大 ②：現状規模で継続 ③：事業縮小 ④：目的達成により終了 ⑤：統合・改善・その他
-------	---	-------------------------------------------------------------

☆公民館運営審議委員付帯意見

(A：適切で成果あり B：成果はあるが、改善の余地あり C：要改善)

委員①		<ul style="list-style-type: none"> 花の様子を多くの人に見てもらうことで、活動への意欲を高めるよう、成果の広報を強化してはどうか。 チューリップ祭との関連を強く周知し、その一回の参加でも可としたら、参加者が増えないか。
総合評価	B ← 参加者増への工夫を	

委員②		<p>市内小中学校への花苗の無償提供がなくなり、現在は各校で工夫しながら環境整備を行っている。除草作業等を含めて、教職員だけでは対応しきれない部分が多く、コロナの状況を見ながら何とか地域のボランティアの動員を考えているが、なかなかうまくいっていない。根郷公民館だけでなく、市内のあらゆる公的施設が、多くの費用をかけることなく、花々で彩られるとありがたい。根郷地区のみならず、こういった活動を市内全地区に広げていただきたいが、会員数の減少と高齢化の課題解決は容易ではないように思える。</p>
総合評価	A	

委員③		<p>園芸による仲間づくりに成果がある。市からの花苗の配布がなくなり、チュウリップ祭りへの全員参加で球根を獲得した。会員相互の連絡調整に課題があったようだ。</p>
総合評価	A	

委員④		<p>綺麗に整備された会場は気持ちの良いものです。今後も継続をしていただきたいですが、会員の増員のために体験会などを企画されてはいかがでしょうか。</p>
総合評価	A	

委員⑤		<p>活動のアピールを公民館で展示等して活動のすばらしさを伝えて人数を増やす事が出来ないか？</p>
総合評価	A	

委員⑥		<p>公民館利用者の学習環境の向上に大きな役割を果たされ、期待通りの成果を得られました。会員は生きがいのある生活を楽しみ、知識の向上を図りすばらしい事業だと思えます。今後の活動で会員の増加に期待します。</p>
総合評価	A	

委員⑦		<p>グループメンバーが一人抜け、また一人抜けすると、欠員を補充することの難しさに直面している、これが一番の課題のように思えました。20年以上も続く事業で、しかも毎年「公民館だより」で新規募集を繰り返しているにもかかわらず、メンバーが減少する状況は根郷公民館の「花の応援団」に限った事例ではありません。事業自体、軽作業を通して他人の目をも癒してくれる達成感を味わえるものなのに残念です。花壇を鑑賞できるのは、公民館利用者、公民館近隣に居住する方々、強いてあげれば根郷小の児童、PTAの保護者でしょうか。育てる側もわざわざ遠くから来られる方はいないでしょう。ということは、メンバーに参加したいと手を上げやすいのは公民館利用者か結構狭い範囲の住民に限られます。そこで提案です。花を育てるだけの内容では事業の魅力に乏しい気もしますので、ある程度の予算は要しますが、教育の一環として植物園の見学会などを織り交ぜた新規事業に衣替えしたらいかがでしょう。草ぶえの丘バラ園などの協力を得るなどして、1年草にこだわらない花壇づくりにイメージを一新したらいかがでしょう。</p>
総合評価	C	

委員⑧		<p>○大変長い実績のある事業は、これに参加した方々が園芸の技術を習得する活動を通して絆を深めてこられた素敵なお仕事です。花の応援団という名称も心豊かになります。四季を通して花のある公民館は、ここに訪れる市民の心を癒します。</p> <p>●報告にあった高齢化による参加者の減少傾向は、何とか工夫しないといけないと思います。夏休みを休会としていましたが、小中学生対象の講座としてできないでしょうか。ボランティアの学びと合わせて、さらに参加者の家庭や公園などの園芸に目を向けるきっかけにもなります。経験者は大人になっても記憶に残ります。時間があれば活動できる人数の確保につながると考えます。</p>
総合評価	A	

委員⑨		公民館の花壇を常にきれいに整えておくことは大変なことであり、花の応援団のメンバーや公民館職員の方々の努力に感謝をします。
総合評価	A	

委員⑩		20年以上、花壇の植栽や整備・草刈りなどを続けられている「花の応援団」事業は、評価が非常に高いゆえ「教育功労者賞」を受賞されたと思います。地域住民の活躍で、来館者に咲き誇るきれいな花を觀賞して貰えることは、素晴らしい事です。ボランティア会員の減少や、花の苗の配布中止など、問題があると思いますが、公民館で応援し継続をお願いしたい。
総合評価	A	

※社会教育法第20条を根拠として評価

委員⑪		〔事業区分〕 実際生活に即する教育 〔目的〕 社会福祉の増進 公民館周辺の植込みに花を育てるボランティア団体（高齢者）を支援する取組みで、花を植え花を愛でる生きがいのある生活をめざす事業で永年にわたり続けられていることに感銘しました。今後も続けて下さい。 （提案）市の事情により苗の配布が無くなったとのことですが、今後、種を採り、播き、育て、愛でる循環型の運営（活動）をし、住民の観察会等を計画してはと思います。
総合評価	A	

委員⑫		20年以上も公民館の園芸活動をされている方々には感謝しかない。公民館の事業となっているが、除草作業も事業であるのか少し疑問でもある。ここまで長い間ボランティアを続け、表彰まで受けているのであれば、公民館単独事業ではなく、市としてボランティア団体と位置づけ、活動範囲と支援を広げる方向に変えられないか。
総合評価	B	

委員⑬		20年間継続している事は評価できます。ただ会員数が少ないのでいつか途絶える可能性があります。新会員増やす企画を導入することが必要と思います。
総合評価	B	

委員⑭		長い間、継続しての活動は立派です。地域の人々は楽しませていただいています。今後も会員を増やし、原点にありますように「園芸講座」からの人材育成を図っていただきたい。
総合評価	B	

委員⑮		○植栽園芸の説明でしたが、花の応援団の苦勞の中で花々は楽しまれていると思います。 ○団体育成については各領域への参加者の動員が多いと思います。 ○佐倉学などSNSで市内からの参加者を増やしましょう。
総合評価	A	